

透析者にとって関心が大きい「骨と関節」に関する講演会を開催し、120名というたいへん大勢の方にご参加いただきました。

去る7月2日に相模原市腎友会は恒例の「第34回医療・栄養講演会並びに懇談会」を開催しました。

ア、医療講演（北里大学医学部整形外科学 宮城正幸先生）

- ・演題 『透析者の骨・関節疾患について』
- ・内容 「骨粗鬆症」やアミロイド沈着による「手根管症候群」「ばね指」「破壊性脊椎関節症」などの説明があり、何よりも大事なことは予防である、予防のための一つは適度な運動とのことである。

イ、栄養講演（医療法人社団蒼紫会森下記念病院 浅倉好江管理栄養士）

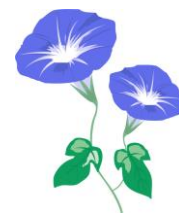
- ・演題 『(骨に関係が深い)リンとカルシウムについて』
- ・内容 リン・カルシウムの働き、カルシウム・リンの代謝、食品のタンパク質1グラム当たりリン含有量、リンコントロールのポイント、リンとカルシウムのバランスなど幅広い内容の説明があった。

ウ、医療・栄養懇談会

透析者、その家族、透析施設の看護師、栄養士などで7人～8人のグループを作り、懇談し結果を発表しました。参加者は44名で、6グループ編成としました。

【来場者の声（来場者アンケートより抜粋）】

- ①本題に入る前に生体腎臓の機能の説明は有り難い（透析者）。
 - ②お話も有意義で、資料の表も約立ちそうで有難い（透析者）。
 - ③腰痛等に変参考になった（透析者）。
 - ④日頃気になっていたことが理解できました。指、膝（透析者）
 - ⑤とても勉強になりました。リンと骨について悩んでいたのも、改めて生活運動に気を付けていきたいと思えます。懇談会も勉強になりました。
 - ⑥予防の重要性が良く分かりました。（透析者）
 - ⑦とても参考になり参加してよかったです（看護師）
- 等々参考になった、勉強になったとの声を多数いただきました。



腎友会に関する問い合わせ先
施設の腎友会役員
又は羽田（042-748-3773）